

## Y04a            なゆた望遠鏡 高感度ハイビジョンカメラによる天体カタログ

太井 義真、坂元 誠、時政 典孝、内藤 博之 (兵庫県立西はりま天文台公園)

西はりま天文台では、2004年11月からなゆた望遠鏡の運用が始まっている。このなゆた望遠鏡のナスミス焦点には高感度ハイビジョンカメラが取り付けられており、ハイビジョン画質での映像を撮ることが出来る。高感度ハイビジョンカメラは3CCD方式でそれぞれにMCP I.I. が内蔵されており、多くの星雲や銀河を撮影可能である。また放送用として製作されているため波長感度特性は人間の目に近いものとなっており、人が眼視観望装置でのぞいた時に見られる像と同じような色合いの映像を撮ることが出来る。

現在、西はりま天文台では、なゆた望遠鏡と高感度ハイビジョンカメラを用いメシエ天体を中心に動画による天体映像カタログの作成を行っており、2005年12月の時点で50天体の映像を取得している。今までにカラー動画での天体カタログはなく、眼視観望時と同じ色合いの映像であることから教育・普及用の資料として十分な価値を持ったものになると考える。撮影した映像はインターネットなどを通じて公開予定である。

講演では高感度ハイビジョンカメラおよび今までに撮影した映像の紹介を行う。